



大雨の合間に見える青空が、高く秋めいてきました。日が暮れると虫の合唱も始まり、季節は着実に巡っているようです。天変地異でご苦労されている方々へ思いを寄せつつ、目の前にある“すったもんだ”に汗をかきかき、9月を過ごしていきましょう。そして、ここまでの半年を振り返り、これからの半年を見通して、今は、何に向き合っていけばよいか、一緒に考えながら、話しあいながら、楽しみながら過ごしていきましょう。悩みは明日への可能性です。

まだまだ暑い日も続きます。食べて飲んで、涼んで寝て、体調管理も怠らずに！ですね。



—9月・10月の予定—

- 9月 3日(火) OT(児童)
- 9月 4日(水)~18日(水) 実習生(武蔵野短期大学)
- 9月10日(火)・19日(木) ST(児童)
- 9月12日(木) ドクターNの医療相談(14:00~16:00)
- 9月18日(水) 地域連携日(児童・放デイ共にお休みです)
- 10月 1日(火)・22日(火)・31日(木) OT(児童)
- 10月 4日(金)・16日(水) ST(児童)
- 10月18日(金) 健康診断(児童)

＝お知らせ＝

《地域連携日について》(児童・放デイ共通)



9月18日(水)は、今年度3回目の地域連携日となります。

7月の地域連携日では、幼稚園4園、小学校3校、中学校2校、学童保育室1カ所(計21名)にお邪魔しました。連携先での姿を踏まえ、先生方と一緒に一学期を振り返る機会となり、見学後、ご家庭への報告を通じ、これまでの歩みと今後のテーマを話し合うことができました。訪問をご了解いただきました先生方、保護者の皆さん、ありがとうございました。

9月の地域連携日においても、対象になるご家庭には事前にお知らせします。

その日の児童と放デイの支援はお休みになります。ご理解のほど、よろしくお願いいたします。

《ドクターNの医療相談》(児童・放デイ・訪問支援共通)



今年度2回目の『ドクターNの医療相談』を9月12日(木)14:00~に行います。医療相談は、埼玉医科大学総合医療センター小児科の奈倉道明先生が行います。

今回は定員を満たしていますが、ご希望ご関心のある方はお声をかけてください。

(ひと枠30分:4組)

【今後の予定:11/14(木) 1月未定】



《保護者座談会のお知らせ》（児童）

児童の支援時間に、放デイの保護者の方に来ていただいております。お話をさせていただき座談会を10月初旬に行います。今の学校や家庭での生活の様子や、就学前の子育て、就園、就学、その他もろもろあれこれをお話していただきながら、皆さんでおしゃべりする時間にしたいと思います。詳細は別途お知らせします。

《定期健康診断について》（児童）

10月18日（金）13:00～、児童の子ども達を対象に健康診断を行います。担当医は、櫻澤医院の茂出木先生です。



受診は必須ですが、幼稚園・保育所で健診を受けている場合は、受けないでいただいても構いません。日常の健康面について、何か先生に伺いたいことがある方は、ぜひこの機会を活かしてください。当日登園のお子さんは受診していただきます。

《「もっと、何か…」と心配になってきたら》（児童・放デイ・訪問支援共通）

「今の過ごし方で順調だとは思っているけれど…」 「もう少し何かしたほうがいいのか…」 「先のことや気がなり始めて…」 「ちょっと行き詰って…」 など、心配になることもあるかと思えます。日々の過ごし方の難しさが積もってきている時期かもしれません。

あんずは児童発達支援センターですので、『たて』と『よこ』の連携を通じ、様々な情報が集まってきます。調べることもできます。今の過ごし方の味を見つめ直しながら、困っていること、プラスしたいことは何？ 次の一手が今必要なのか等、一緒に考えていきましょう。

“ちょっと相談してみたいな…” と思ったら、今！お気軽に声をかけてください。利用日以外に相談時間を設けることもできます。キーワードは『動く前に話す』です！

児童の支援あれこれ



同じ課題を繰り返し取り組んできた巧技台運動。“梯子またぎ”では、はじめはバーに足をかけたり、足を上げるのにひと苦労だったりした子ども達が、回を重ねるごとに、それぞれのペースで上達し、自信を持って取り組んでいましたね。高さに変化をつけると、「お!？」っと気付いて、腕で身体を支えながら最後までやり遂げることができていました。

“よじのぼりジャンプ”では、直地点に目印として、輪っかを用意しました。両足裏で踏ん張って跳ぼうとする力、前かがみになって膝を曲げる中間姿勢、着地して身体を止める力など、簡単そうに見えて、じつはいろいろなことを意識するのがポイントの課題でした。高さを感じていた子、輪っかを気にせず跳んでいた子も「ちょっとずつ」の積み重ねで、自分の身体をたくさん感じながら取り組むことができましたね。

ドキドキすることも「やってみよう」の気持ちにつながってきたことを嬉しく思った8月でした。



放デイのひとり言



夏休み、子どもたちは、学校がある時より穏やかな表情で放デイにやってきます。子どもたちは、普段、学校という社会の中で、一生懸命気を張って生きているんだなあと、改めて感じました。

そんな子どもたちと8月最終週は「お楽しみ会」を行いました。

おやつには「かき氷」が出ました。子どもたちは、かき氷機から出てくる氷にワクワクして大喜び！イチゴ、メロン、レモンの中から好きな味を選びました。今まだ食べたことのなかった子が、周りの友達のワクワク感に背中を押されて、初めて口にする姿が見られたのが嬉しかったです。

活動は、「ヨーヨー釣り」「お菓子釣り競争」「射的」を行いました。一年に一回の取り組みなのに、子どもたちはちゃんとやり方を覚えていて、真剣なまなざしで取り組む姿は頼もしかったです。そして、異年齢の子ども同士が「がんばって～！」と応援し合う姿は微笑ましく、放デイならではの姿だなと思いました。

ご家庭やあんずでの楽しかった思い出が、

9月からの元気の源になりますように。



【職員の退職のお知らせ】 吉田 峻佑（8月31日付）

ボランティアでお世話になっていた期間を含めると、気が付けば、約3年間あんずの活動に携わせていただきました。仕事だからしっかりしなくては！と思いつつも、皆さんと関わるのがとても楽しく、ハメを外してしまうことが多かったように感じます。そんな幸せな思い出をくれた皆さんの今後の、幸多きものになるよう、心から願っております。誠にありがとうございました。



保育所等訪問支援ある日あるとき

8月は、幼稚園は夏休みでしたので、保育所と学童保育室に伺いました。保育所も8月は子どもが少ない日があり、元気な中にも、少しのんびりした雰囲気でも過ごしているところが多かったなと思います。その子を目で追いかけるスピードが違いましたので。“のんびり”さとは、いつもよりスペースがあって、いつもよりペースがゆっくりで、飛び交う会話が聞き取りやすく、スケジュールもゆったりで、みんなが一緒に過ごしやすい時空間のことだなと思いました。“いつも”のことに少しじっくり向き合えるので、その子も、まわりに煽られずに体験でき、ゆったりと遊べ、関わっていました。

学童保育室は、過ごす時間は長いですが、学校とのダブルヘッダーではないので、心も身体も、やはり少しゆったりしていたなと思います。一つひとつの動きや動作に、ゆとりが感じられました。じっくり育つ、底上げのチャンスですね。

この夏の育ちが、エンジン全開の9月からに生きるといういいなと思えた8月でした。



新しい職員を紹介します！

小野山 富妙美と書いて「おのやま ふたみ」と言います。
保育士が働ける職場をいろいろ経験しましたが、
このお仕事が大好きです。どうぞよろしくお願いいたします。



放デイスタッフ

運転手さん



高橋 政治（タカハシ マサハル）と申します。
8月27日（火）より、ジャンボの送迎運転手として、
皆さまの仲間入りをさせていただきました。
安全運転を第一に業務させていただきます。
宜しくお願い致します。



あんず書店



『おすしが ぶくを かいにきた』 #
田中達也 作#



#

この絵本は、ミニチュアの写真を絵本にして、いつもとは違う絵本で
見ていると何だか癒され、すみずみまで楽しい絵本です。

お寿司が服を買いに行き、トロにしようかサーモンにしようかと
服を選んでみたり、私達もよく行く買い物やお出掛けが、食べ物達で
おもしろく描かれています。

なんだかほっこり笑ってしまう一冊です。（森田）

☆お 礼☆

8月は、タオルをたくさんいただきました。
また、雑巾をたくさん縫っていただきました。時間を割いていただいた
ことに心から感謝いたします。大切に使用させていただきます。

